

令和8（2026）年2月6日

受検者の皆様

保護者・関係者の皆様

東京学芸大学附属国際中等教育学校

校長 雨宮 真一

入学選抜検査問題(適性検査Ⅰ)出題ミスとその対応について（お詫び）

本校が令和8（2026）年2月3日（火）に実施いたしました令和8（2026）年度4月入学選抜検査の適性検査Ⅰにおいて、出題した問題の一部に誤りがあることが判明いたしました。

出題ミスの内容および対応措置につきましては、下記のとおりご報告いたします。

なお、本件につきましては、本校が採点前に誤りに気付くとともに下記のとおり対応を行いました。

受検生の皆さま並びに保護者の皆さまに多大なるご迷惑とご心配をおかけすることになりましたことを、心より深くお詫び申し上げます。

今後は確認体制を一層強化し、再発防止に万全を期してまいります。

記

1. 「適性検査Ⅰ」不適切な条件設定の箇所および内容

令和8（2026）年度 第1学年4月入学選抜検査「適性検査Ⅰ」**2**〔問題1〕の『〔表1〕4地点における2点間のそれぞれの直線距離』で、示した4地点（Ⓐ,A,B,C）の位置関係が2次元（平面・地図）上において成立しない条件となっていた。

二人は学校の校門と地点A, B, Cにおいて、それぞれの2地点間の直線距離を下の〔表1〕のように整理しました。

〔表1〕4地点における2点間のそれぞれの直線距離

地点	Ⓐ	A	B	C
Ⓐ	0	0.3	1.5	1.2
A	0.3	0	0.9	0.93
B	1.5	0.9	0	0.6
C	1.2	0.93	0.6	0

（単位：km）

〔表1〕で示された地点の間の3つの線分〔Ⓐ-A（長さ0.3）, A-B（長さ0.9）, B-Ⓐ（長さ1.5）〕では平面において（閉じた）三角形をつくることができない（三角形が成立する条件「一番長い辺は、残り2辺の和より小さくなければならない」を満たさない）ため、〔問題1〕中の設問の題意をみたす条件としては相応しくない値であった。

2. 対応措置

- [表1] に関する [問1] ~ [問5] については、本検査を受検した受検生全員に当該問題を正解と同等に扱う措置をとった。対象の設問を次に示す。

令和8（2026）年度 第1学年4月入学選抜検査「適性検査I」[2] [問題1] の [問1] ~ [問5]

二人はスタートでありゴールでもある学校の校門を⑥として、また3つのチェックポイントを地点A, B, Cとして選び、地図から直線距離を計算しようとしています。この町の地図の縮尺は1万5千分の1です。

問1 この町の地図上のある2地点間の長さが5.3cmのとき、実際の直線距離は何kmになりますか。

問2 地点BとCの間の直線距離は何kmですか。上の〔表1〕から答えなさい。

るい：⑥ → A → B → C → ⑥の順番にまわるとき、移動距離は全部で3kmになるね。もし移動する速さが時速5kmだとしたら…ゴールするまでに②時間かかるから、分に直すと④分だわ。そして、もし⑥, A, B, Cの各4地点で、7分間ずつ、方向や移動の道すじを確認する時間がかかるとしたら、ゴールするまでにかかる時間は全部で⑤分になるわ。

りお：じゃあ、⑥ → A → C → B → ⑥の順番でまわるならば、るいさんのように考えて計算すると、移動距離は全部で③kmで、ゴールするまでにかかる時間は⑥ → A → B → C → ⑥の順番にまわるときよりも④なるわね。

問3 るいさんとりおさんの会話の中の②～③にあてはまる数値を、また④には当てはまる言葉を、「長く」または「短く」のいずれかから選んで答えなさい。

ここからはチェックポイントをめぐる順番をコースと呼ぶことにします。

問4 他にもめぐるコースが考えられますが、上の会話の中にある2つのコースをふくめて全部で何コースありますか。ただしスタート地点とゴール地点は変わらず学校の校門（⑥）とします。

問5 移動距離が一番長いコースは2つありますが、そのうちいずれか1つのコースのまわる順番を、二人の会話にならって矢印を使って答えなさい。またそのコースの移動距離は何kmか答えなさい。

※ 検査問題および模範解答は、次のダウンロードサイトをご参照ください。

<https://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp/admission/admissiondownload/>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

東京学芸大学附属国際中等教育学校

副校長 後藤貴裕

Tel 03-5905-1326

e-mail office@tguiss.jp